

『浮世画人伝』（関根金四郎（黙庵）著・明治三十二年刊行）

菱川七右衛門 安房国平群郡保田町住染物業

菱川吉左衛門道茂入道光竹【同町住縫箔業／寛文二年二月十五日歿】

菱川吉兵衛師宣【道茂長男／没年略ス】

政信【師宣門人／字守節】

友房

師重【本姓古山太郎兵衛元禄中の人／江戸長谷川町に住す】

師政【師重門人俗称新九郎号文志山人／此人に至りて

菱川の画風を失へりと世事談に云へり】

重嘉 師重長男

弥右衛門 師重次男

正之丞 道茂二男

師房【師宣長男、別名吉左衛門、後に吉兵衛父と同居して画を業とす／

後染物業に転せり】

師永【師宣次男、父と共に画を業とし彩色に巧みなり／江戸鹿子

江戸図鑑には作之丞と有り又造酒之丞とも】